

平成21年4月期 第1四半期決算短信

平成20年9月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ
 コード番号 9627 URL <http://www.aini.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 川井 淳一
 四半期報告書提出予定日 平成20年9月12日

TEL 011-783-0189

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第1四半期の連結業績(平成20年5月1日～平成20年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第1四半期	28,346	—	985	—	980	—	423	—
20年4月期第1四半期	22,930	16.9	889	87.6	839	79.5	375	67.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年4月期第1四半期	36.31	36.23
20年4月期第1四半期	33.16	32.99

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年4月期第1四半期	59,922	12,908	12,945	12,040	21.5	1,092.67
20年4月期	57,546	12,908	12,707	12,040	20.9	1,059.78

(参考) 自己資本 21年4月期第1四半期 12,908百万円 20年4月期 12,040百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年4月期	—	—	—	20.00	20.00
21年4月期	—	—	—	—	—
21年4月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年4月期の連結業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	56,590	—	1,988	—	1,871	—	816	—	67.44
通期	120,600	13.5	4,920	10.7	4,720	9.4	2,108	30.5	169.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年4月期第1四半期	11,816,106株	20年4月期	11,363,456株
② 期末自己株式数	21年4月期第1四半期	2,580株	20年4月期	2,456株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年4月期第1四半期	11,653,376株	20年4月期第1四半期	11,332,333株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

3. 平成21年4月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、当第1四半期までの新株予約権の行使、平成20年6月1日付株式会社アインメディカルシステムズとの株式交換及び平成20年8月26日付の株式会社セブン&アイ・ホールディングスに対する第三者割当増資による増加株式数を反映させております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、原油・原料価格の高騰に加え、米国経済の後退局面の懸念等により、輸出、生産を中心として厳しさを含み推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の全国規模の出店を継続し、コスメティックショップ及び都市型ドラッグストアの展開を進め、事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第1四半期における業績は、売上高が283億4千6百万円（参考：前年同期比23.6%増）、経常利益は9億8千万円（同16.8%増）、四半期純利益は4億2千3百万円（同12.7%増）となり、いずれも順調に推移いたしました。事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（医薬事業）

医薬事業は、当社グループによる調剤薬局の新規出店並びに開発活動を全国規模で推し進めてまいりました。平成20年6月1日には、グループ間の連携強化のため株式会社アインメディカルシステムズとの株式交換を行い、同社を完全子会社といたしました。（同日において株式会社アインメディカルシステムズは上場廃止）

また、処方箋様式の変更に伴い、株式会社ホールセールスターズのジェネリック医薬品販売は着実に拡大し、株式会社メディウェルは立川駅ビルの医療モール（東京都立川市）の開発に関与（当該医療モールには、株式会社リジョイスがアイン薬局を出店）するなど、グループ全体として単に調剤薬局に留まらない包括的な事業展開を進めております。

当第1四半期は、グループ全体で事業譲受等を含め合計5店舗の出店と2店舗の閉店をいたしました。これに、新たにグループ会社となりました株式会社埼玉調剤の2店舗を加えた結果、当社グループにおける稼動調剤薬局総数は361店舗となりました。

その結果、売上高は、247億6千6百万円、営業利益は12億3千万円となりました。

（物販事業）

物販事業は、平成21年4月以降「登録販売者」による医薬品の販売が開始され、異業種の参入等さらなる流動化が進行することが予測されております。当社においては、登録販売者の社内育成を充実し、医薬品販売に関する法改正に備えるとともに、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」のほか、コスメティック専門店「トルペ」の展開により、コスメティック商品を中心とした専門性の高い店舗展開を進め、他ドラッグストアチェーンとの差別化を明確にしてまいりました。

当第1四半期は、平成20年5月に横浜市都筑区のショッピングセンターに「トルペ」の店舗形態で1店舗を出店し、株式会社アイン東海を含めたドラッグストア店舗総数は46店舗となりました。

また、前年度より新MDによる販売戦略及び在庫適正化による収益改善を進め、粗利率向上、在庫削減等一定の成果をもたらしましたが、食品、石油製品の価格高騰に伴う生活防衛意識の高まりにより既存店売上が全般的に伸び悩み、売上高は、35億1千3百万円、営業損失は2千4百万円となり、黒字転換には至りませんでした。

（その他の事業）

その他の事業における売上高は6千6百万円、営業損失は1千8百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より23億7千5百万円増の599億2千2百万円となりなりました。主な要因は医薬、物販両事業の出店に伴うたな卸資産、有形固定資産及び敷金・保証金等の増加によるものであります。

負債の残高は、21億3千7百万円増の469億7千7百万円となり、有利子負債の残高は、資金調達コストの観点より一部調剤債権の流動化を銀行借入にシフトしたことにより、7億4千5百万円増となる193億2千1百万円となりました。

純資産の残高は、2億3千7百万円増の129億4千5百万円となり、自己資本比率は0.6ポイント改善となる21.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当第1四半期の新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、現時点においては、平成20年6月12日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想（売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益）に変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、平成20年8月26日付の第三者割当増資により発行した増加株式数を反映させて算定した結果、第2四半期連結累計期間は67円44銭（平成20年6月12日発表は70円72銭）、通期では169円23銭（同179円40銭）とそれぞれ修正いたしました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. たな卸資産の評価方法

当第1四半期におけるたな卸資産のうち、調剤薬品については、実地棚卸を省略し、前連結会計年度の実地棚卸による残高を基礎とし、合理的な方法により算定しております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

当連結会計年度の予算に基づく年間償却予定額を期間按分し、期中の取得、売却又は除却の実績を調整する方法により算定しております。

3. 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一次差異等の発生状況に著しい変化がないと認められたため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

4. 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法により算定しております。

5. 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が、当第1四半期連結会計期間より適用されたことに伴い、通常の販売目的で保有するたな卸資産のうち、調剤薬品については、従来、主として総平均法による原価法、調剤薬品以外の商品については売価還元法による原価法によっておりましたが、調剤薬品は主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、調剤薬品以外の商品は売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零として算定する定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が、リース会計適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,333,975	4,315,144
受取手形及び売掛金	10,998,674	8,964,331
商品	6,115,599	5,264,604
貯蔵品	91,225	90,839
繰延税金資産	624,855	568,870
短期貸付金	543,568	594,282
未収入金	1,500,585	2,421,622
その他	440,737	424,247
貸倒引当金	△34,414	△35,153
流動資産合計	24,614,807	22,608,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,848,561	5,794,583
土地	4,893,594	4,849,362
その他（純額）	1,044,789	918,425
有形固定資産合計	11,786,945	11,562,371
無形固定資産		
のれん	13,480,977	13,459,919
その他	446,667	443,469
無形固定資産合計	13,927,644	13,903,389
投資その他の資産		
投資有価証券	2,010,697	1,964,107
繰延税金資産	900,983	884,241
敷金及び保証金	6,168,357	6,111,327
その他	770,769	770,363
貸倒引当金	△258,000	△258,000
投資その他の資産合計	9,592,808	9,472,039
固定資産合計	35,307,398	34,937,800
資産合計	59,922,205	57,546,589

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,574,028	18,576,099
短期借入金	6,980,168	7,377,090
未払法人税等	524,692	1,214,488
預り金	2,972,866	2,704,348
賞与引当金	516,157	718,512
役員賞与引当金	47,237	42,940
ポイント引当金	278,767	278,767
その他	1,563,365	1,658,245
流動負債合計	33,457,282	32,570,493
固定負債		
社債	326,000	472,000
長期借入金	12,014,884	10,726,414
退職給付引当金	775,192	735,294
その他	403,651	334,873
固定負債合計	13,519,728	12,268,582
負債合計	46,977,011	44,839,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,044,806	3,424,170
資本剰余金	3,626,800	3,543,738
利益剰余金	5,425,978	5,207,517
自己株式	△6,420	△3,435
株主資本合計	13,091,165	12,171,991
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△182,887	△131,883
評価・換算差額等合計	△182,887	△131,883
少数株主持分	36,917	667,405
純資産合計	12,945,194	12,707,512
負債純資産合計	59,922,205	57,546,589

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)
売上高	28,346,075
売上原価	24,820,528
売上総利益	3,525,547
販売費及び一般管理費	2,540,390
営業利益	985,156
営業外収益	
受取利息	6,614
受取配当金	10,322
受取手数料	12,230
不動産賃貸料	14,485
業務受託料	15,465
その他	20,117
営業外収益合計	79,235
営業外費用	
支払利息	62,173
債権売却損	13,624
不動産賃貸費用	3,099
その他	4,755
営業外費用合計	83,653
経常利益	980,738
特別利益	
投資有価証券売却益	582
特別利益合計	582
特別損失	
固定資産除売却損	1,308
投資有価証券評価損	30,374
減損損失	36,967
その他	8,111
特別損失合計	76,762
税金等調整前四半期純利益	904,558
法人税等	480,148
少数株主利益	1,299
四半期純利益	423,110

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年5月1日
至 平成20年7月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	904,558
減価償却費	249,131
減損損失	36,967
のれん償却額	195,584
投資有価証券評価損益(△は益)	30,374
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39,898
賞与引当金の増減額(△は減少)	△200,336
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9,218
受取利息及び受取配当金	△16,936
支払利息	62,173
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,308
売上債権の増減額(△は増加)	△1,986,535
たな卸資産の増減額(△は増加)	△839,088
仕入債務の増減額(△は減少)	1,992,013
その他	1,144,706
小計	1,623,037
利息及び配当金の受取額	15,190
利息の支払額	△61,841
法人税等の支払額	△1,256,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△470,053
有形及び無形固定資産の売却による収入	10
投資有価証券の取得による支出	△172,500
投資有価証券の売却による収入	1,264
関係会社株式の取得による支出	△179,675
貸付金の回収による収入	57,318
定期預金の預入による支出	△24
定期預金の払戻による収入	100,000
その他	△77,220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△740,880

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年5月1日
至 平成20年7月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,050,000
短期借入金の返済による支出	△2,146,000
長期借入れによる収入	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△512,452
社債の償還による支出	△146,000
株式の発行による収入	41,244
自己株式の取得による支出	△204
配当金の支払額	△227,220
少数株主への配当金の支払額	△19,730
財務活動によるキャッシュ・フロー	539,636
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	118,806
現金及び現金同等物の期首残高	4,195,144
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,313,951

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結 会計期間	(自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)	医薬事業	物販事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高		24,766,566	3,513,186	66,322	28,346,075	—	28,346,075
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高		—	1,500	4,686	6,186	△6,186	—
計		24,766,566	3,514,686	71,009	28,352,262	△6,186	28,346,075
営業利益（又は営業損失（△））		1,230,836	△24,263	△18,129	1,188,443	△203,287	985,156

(注) 1. 事業区分の方法

内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主な内容は、次のとおりであります。

医薬事業……………調剤薬局の経営、フランチャイズ業、人材派遣・紹介業及びコンサルティング業、
医薬品の販売、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の販売

物販事業……………医薬品、化粧品、家庭雑貨等の販売、フランチャイズ業、ショッピングセンター開設
に係るコンサルタント、薬局の経営

その他の事業……………不動産賃貸業等

3. 会計処理の方法の変更

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を早期適用しております。

この変更に伴い、「医薬事業」の営業利益が影響を受けておりますが、影響額については軽微であります。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日）

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日）

海外での売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年6月1日付の株式会社アインメディカルシステムズとの株式交換により、同社を完全子会社化しております。この結果、資本金が600,000千円、資本剰余金が62,454千円増加しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年4月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	22,930,312
II 売上原価	19,956,230
売上総利益	2,974,081
III 販売費及び一般管理費	2,084,562
営業利益	889,518
IV 営業外収益	72,076
V 営業外費用	121,946
経常利益	839,648
VI 特別利益	22,272
VII 特別損失	110,955
税金等調整前四半期純利益	750,965
法人税等	358,563
少数株主利益	16,976
四半期純利益	375,425